

平成22年度水道事業会計決算の状況

平成22年度の水道事業会計決算の事業概要、収益状況や施設の建設資金の内訳などをお知らせします。上下水道部では、みなさまに安心して水道を利用いただけるよう、健全な経営に努めてまいります。

業務の状況

(平成23年3月31日現在)

給水人口	47,842人	給水戸数	18,962戸
年間総配水量	4,925,013m ³	一日最大配水量	16,100m ³

経営の状況

●収益的収支 / 水道水をつくり、ご家庭にお届けするための経費と財源

◎収入 8億9,183万円

お客様からの水道料金 8億4,045万円	その他 5,138万円
-------------------------	----------------

◎支出 7億1,339万円

消費税調整額 2,163万円

人件費 1億1,605万円	施設の維持管理費など 2億7,330万円	支払利息 5,774万円	減価償却費*1 2億6,630万円	純利益*2 1億5,681万円
------------------	-------------------------	-----------------	----------------------	--------------------

*1 減価償却費には資産減耗費も含まれています。
*2 純利益は収入支出の差額から、さらに消費税の影響額を差引いて計算しています。

●資本的収支 / 水道施設を建設・改良するために必要な経費と財源

◎収入 2億2,530万円

企業債 2億円	不足額 6億4,511万円
村出資金 1,677万円	工事負担金等853万円

◎支出 8億7,041万円

建設改良費 (施設の建設・改良工事のための費用) 4億8,294万円	企業債償還金 3億8,747万円
--	---------------------

資本的収入が支出に不足する額は、減価償却費などの現金支出を伴わない経費など内部留保される資金である損益勘定留保資金や前年度までの純利益などで補填します。

Q & A

1立方メートルの水道水をつくるためにどれくらいのお金がかかっているの？

水道水1立方メートルの費用を「給水原価*1」といい平成22年度の給水原価は151.7円です。内訳は右のグラフのように施設の維持管理費などと減価償却費が主なものとなっています。

*1 給水原価は受託工事費・特別損失を除いた収益的収支より算出しています。
*2 減価償却費には資産減耗費も含まれています。

給水原価(151.7円)の内訳

